

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
宮元 預羽			

講義概要	①人間関係を成立させる為の信頼関係の重要性を理解する。 ②コミュニケーションの役割を理解する。 ③コミュニケーション技術の基礎を理解する。 ④カウンセリング技術の基礎を理解する。 ⑤介護を必要とする方々への理解を深めるとともに、それぞれの方々に応じたコミュニケーション技術を身につける。
授業計画	1 介護におけるコミュニケーション（1） コミュニケーションの意義と目的 学習課題：テキスト p2～p27 コミュニケーションの基本（伝） 2 介護におけるコミュニケーション（2） コミュニケーションの意義と目的 学習課題：テキスト p2～p27 コミュニケーションの基本（ジョ） 3 コミュニケーションの役割 利用者・家族との信頼関係の形成 学習課題：テキスト p28～40 利用者を理解するためのコミュニケーション（三つの） 4 介護における生活支援とコミュニケーション 生活支援技術とコミュニケーション 学習課題：テキスト p41～50 介護福祉士に求められるコミュニケーション技術 5 介護場面におけるコミュニケーション（1） 話を聴く技法Ⅰ 学習課題 復習：テキスト p52～60 話を聴く技法（うな・相） 6 介護場面におけるコミュニケーション（2） 話を聴く技法Ⅱ 学習課題 復習：テキスト p52～60 話を聴く技法 7 介護場面におけるコミュニケーション（3） 利用者の感情表現を察する技法 学習課題：テキスト p61～71 豊かな感情表現 8 介護場面におけるコミュニケーション（4） 利用者の納得と同意を得る技法Ⅰ 学習課題：テキスト p72～80 納得と同意（繰） 9 介護場面におけるコミュニケーション（5） 利用者の納得と同意を得る技法Ⅱ 学習課題：テキスト p72～80 納得と同意（要） 10 介護場面におけるコミュニケーション（6） 質問の技法 学習課題：テキスト p81～92 質問の技法（質） 11 介護場面におけるコミュニケーション（7） 相談・助言・指導の技法Ⅰ 学習課題：テキスト p93～104 相談・助言・指導の技法（指） 12 介護場面におけるコミュニケーション（8） 相談・助言・指導の技法Ⅱ 学習課題：テキスト p93～104 相談・助言・指導の技法（助） 13 介護場面におけるコミュニケーション（9） 利用者の意欲を引き出す技法 学習課題：テキスト p105～112 利用者の意欲を引き出す技法 14 介護場面におけるコミュニケーション（10） 利用者と家族の意向を調整する技法 学習課題：テキスト p113～120 利用者と家族の意向を調整する技法 15 介護場面におけるコミュニケーション（11） 複数の利用者がある場面でのコミュニケーション技法

学習課題テキスト p 121～113 複数の利用者がいる場面でのコミュニケーション技法	
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①コミュニケーションの役割がわかる。 ②人間関係を成立するための信頼関係の重要性を説明できる ③受容、傾聴、共感、要約、質問、などの、カウンセリングの基礎を身につける。 ④相談、助言、指導、の技法を適切に使い分けることができる。 ⑤利用者及び家族間の多様なコミュニケーション方法を理解できる。
教科書・参考書	テキスト1：適時資料を配布する。 テキスト2：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座5『コミュニケーション技術』第3版中央法規出版。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。
備考・メッセージ	なるべく楽しい演習を取り入れますが、「そもそも、何のための演習だったのか」を常に意識して振り返るようになさってください。